

◆踏み切り事故被害者のご子息から記者クラブに送られた文章◆

たくさんの報道に接し、大変勇気づけられましたが、  
「徘徊した」との表現に少し違和感を持つようになりました。

父が自宅玄関からいなくなった2回とも、  
父が生まれ育った実家の方向に向かっていました。  
「実家に行こう」という目的を持って歩いていたはずです。  
父はそれまで必ず戻っていた事務所出入り口から初めていなくなり、  
事故に遭遇しましたが、  
この時も何か目的を持って歩いていたはずです。

徘徊というと、  
無目的で歩き回るようなニュアンスがありますが、  
そうではありません。  
一人で外出したものの道が分からなくなって帰れなくなったに過ぎません。  
従って、決して危険な行動ではありません。  
単なる「一人歩き」です。

—————\*★\*—————

亡くなった男性のご子息から、メディアに配られた文章です。  
この素晴らしい文章を報じたメディアはありませんでした。